

## 注記 12年度

### 1. 重要な会計方針

#### 1. 有形固定資の減価償却の方法

##### (1)有形固定資産

建物、工作物

定率法により減価償却を行っている。

物品

50万円以上の重要物品については、厚生保険特別会計全体として管理を行っており、当勘定において所有するものを明確に把握できないため、勘定区分の財務書類においての計上は行わず、勘定を合算した財務書類において計上を行う。

#### 2. 引当金の計上基準及び計算方法

##### (1)貸倒引当金

未納保険料については、過去5年間の保険料の収納額、不納欠損額に基づき算定し、また、その他返納金債権等の未収金については、過去の実績により算定している。

### 2. 偶発債務等

#### 1. 国庫債務負担行為による負担額

国庫債務負担行為による繰越債務額

1,479,228 百万円

### 3. 追加情報等

#### 1. 出納整理期間

予算決算及び会計令第3条及び第4条により出納整理期間が設定されており、出納整理期間中の現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としている。

#### 2. 各特別会計固有の表示科目

##### 事業運営安定資金

厚生保険特別会計法第7条の規定により、従来積立金を活用して事業運営安定資金を創設し、短期的な景気変動に左右されない安定した保険料率を設定するとともに、資金を活用して保健・福祉施設事業の充実を図るために設置されている。

#### 3. 歳出予算の繰越等

##### 1. 前年度の繰越額及び繰越に見合って受入れられた財源の額

イ. 前年度の繰越額	1,479,228百万円
ロ. 繰越に見合って受入れられた財源の額	1,479,228百万円

##### 2. 本年度の繰越額及び繰越に見合って受入れられた財源の額

イ. 本年度の繰越額	1,479,228百万円
ロ. 繰越に見合って受入れられた財源の額	1,479,228百万円

##### 3. 繰越の調整

イ. 本年度業務費用・財源差額	△192,865百万円
ロ. 本年度繰越見合財源	1,479,228百万円
ハ. 前年度繰越見合財源	1,479,228百万円
ニ. 繰越の調整後の業務費用・財源差額	△192,865百万円

4. 他会計（勘定）から受入

イ. 一般会計より受入

「健康保険法」等に基づく国庫補助金等及び「健康保険法」に基づく国庫負担金

ロ. 郵政事業特別会計より受入

「健康保険法」に基づく健康保険印紙の売払代金の受入金

5. 他会計（勘定）への繰入

イ. 業務勘定へ繰入

「厚生保険特別会計法」第3条の規定に基づく保健事業等財源及び福祉事業財源の業務勘定への繰入金

附属明細書 12年度

1. 貸借対照表項目に関する明細

① 未収金の明細

未収金の明細

(単位：百万円)

内 容	相 手 方	本年度末残高
政管健保の現金給付返納金	被保険者等	3,055

② 固定資産の明細

固定資産の明細

(単位：百万円)

区分	前年度末残高	本年度増加額	本年度減少額	本年度減価償却額	評価差額（本年度発生分）	本年度末残高
(有形固定資産)						
土地	179,893	35,558	848	—	△28,029	154,450
立木竹	378	47	—	—	△11	414
建物	211,346	20,084	478	8,969	△15,619	206,364
工作物	116,520	19,367	148	11,063	△11,734	112,940
物品	—	—	—	—	—	—
建設仮勘定	23,776	4,783	21,983	—	—	6,576

③ 出資金の明細

出資金の増減の明細

(単位：百万円)

種 類	前年度末残高	評価差額の戻入	本年度増加額	本年度減少額	評価差額（本年度発生分）	強制評価減	本年度末残高
出資金	0	—	—	—	—	—	0

出資金の明細

(単位：百万円)

出資先	特別会計 BS額	出資先・資産	出資先・負債	出資先・純資 産	出資先・ 資本金	特別会 計からの 出資額	出資割 合	純資産額によ る産出額	使用財務諸表
		(A)	(B)	(C=A-B)	(D)	(E)	(F=E/D)	(G=C×F)	
社会保険診療報 酬支払基金(一般 会計)	0	101,041	95,349	5,691	1	0	37%	2,106	特殊法人決算

④ 未払金の明細

未払金の明細

(単位：百万円)

内 容	相 手 方	本年度末残高
介護保険料の12年度納付猶予	社会保険診療報酬支払基金	91,113

⑤ 借入金の明細

借入金の明細

(単位：百万円)

借入先	前年度末残高	本年度増加額	本年度減少額	本年度末残高
一般会計	1,479,228	1,479,228	1,479,228	1,479,228

※ 「昭和48年度末歳入不足補てん債務借入金」および「旧日雇健康保険勘定に係る歳入不足補てん

⑥ 資産評価差額の明細

資産評価差額の明細

(単位：百万円)

区分	前年度末残高	本年度増加額	本年度減少額	本年度末残高	評価差額の発生原因
土地	—	—	△28,029	△28,029	価格改定
立木竹	—	—	△11	△11	価格改定
建物	—	—	△15,619	△15,619	価格改定
工作物	—	—	△11,734	△11,734	価格改定
計	—	—	△55,394	△55,394	

## 注記 13年度

### 1. 重要な会計方針

#### 1. 有形固定資の減価償却の方法

##### (1)有形固定資産

###### 建物、工作物

定率法により減価償却を行っている。

###### 物品

50万円以上の重要物品については、厚生保険特別会計全体として管理を行っており、当勘定において所有するものを明確に把握できないため、勘定区分の財務書類においての計上は行わず、勘定を合算した財務書類において計上を行う。

#### 2. 引当金の計上基準及び計算方法

##### (1)貸倒引当金

未納保険料については、過去5年間の保険料の収納額、不納欠損額に基づき算定し、また、その他返納金債権等の未収金については、過去の実績により算定している。

### 2. 偶発債務等

#### 1. 国庫債務負担行為による負担額

国庫債務負担行為による繰越債務額

1,479,228 百万円

### 3. 追加情報等

#### 1. 出納整理期間

予算決算及び会計令第3条及び第4条により出納整理期間が設定されており、出納整理期間中の現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としている。

#### 2. 各特別会計固有の表示科目

##### 事業運営安定資金

厚生保険特別会計法第7条の規定により、従来積立金を活用して事業運営安定資金を創設し、短期的な景気変動に左右されない安定した保険料率を設定するとともに、資金を活用して保健・福祉施設事業の充実を図るために設置されている。

#### 3. 歳出予算の繰越等

##### 1. 前年度の繰越額及び繰越に見合って受入れられた財源の額

イ. 前年度の繰越額	1,479,228百万円
ロ. 繰越に見合って受入れられた財源の額	1,479,228百万円

##### 2. 本年度の繰越額及び繰越に見合って受入れられた財源の額

イ. 本年度の繰越額	1,479,228百万円
ロ. 繰越に見合って受入れられた財源の額	1,479,228百万円

##### 3. 繰越の調整

イ. 本年度業務費用・財源差額	△ 441,968百万円
ロ. 本年度繰越見合財源	1,479,228百万円
ハ. 前年度繰越見合財源	1,479,228百万円
ニ. 繰越の調整後の業務費用・財源差額	△ 441,968百万円



4. 他会計（勘定）から受入

イ. 一般会計より受入

「健康保険法」等に基づく国庫補助金等及び「健康保険法」に基づく国庫負担金

ロ. 郵政事業特別会計より受入

「健康保険法」に基づく健康保険印紙の売払代金の受入金

5. 他会計（勘定）への繰入

イ. 業務勘定へ繰入

「厚生保険特別会計法」第3条の規定に基づく保健事業等財源及び福祉事業財源の業務勘定への繰入金

附属明細書 13年度

1. 貸借対照表項目に関する明細

① 未収金の明細

未収金の明細

(単位：百万円)

内 容	相 手 方	本年度末残高
政管健保の現金給付返納金	被保険者等	3,151

② 固定資産の明細

固定資産の明細

(単位：百万円)

区分	前年度末残高	本年度増加額	本年度減少額	本年度減価償却額	評価差額（本年度発生分）	本年度末残高
(有形固定資産)						
土地	154,450	1,524	625	—	—	155,349
立木竹	414	2	0	—	—	417
建物	206,364	7,002	648	8,757	—	203,960
工作物	112,940	5,871	499	10,723	—	107,589
物品	—	—	—	—	—	—
建設仮勘定	6,576	11,523	2,152	—	—	15,947

③ 出資金の明細

出資金の増減の明細

(単位：百万円)

種 類	前年度末残高	評価差額の戻入	本年度増加額	本年度減少額	評価差額（本年度発生分）	強制評価減	本年度末残高
出資金	0	—	—	—	—	—	0

出資金の明細

(単位：百万円)

出資先	特別会計 BS額	出資先・資産	出資先・負債	出資先・純資 産	出資先・ 資本金	特別会 計からの 出資額	出資割 合	純資産額によ る産出額	使用財務諸表
		(A)	(B)	(C=A-B)	(D)	(E)	(F=E/D)	(G=C×F)	
社会保険診療報 酬支払基金(一般 会計)	0	122,930	117,147	5,782	1	0	37%	2,139	特殊法人決算

④ 借入金の明細

借入金の明細

(単位：百万円)

借入先	前年度末残高	本年度増加額	本年度減少額	本年度末残高
一般会計	1,479,228	1,479,228	1,479,228	1,479,228

※ 「昭和 48 年度末歳入不足補てん債務借入金」 および 「旧日雇健康保険勘定に係る歳入不足補てん

⑤ 資産評価差額の明細

資産評価差額の明細

(単位：百万円)

区分	前年度末残高	本年度増加額	本年度減少額	本年度末残高	評価差額の発 生原因
土地	△28,029			△28,029	
立木竹	△11			△11	
建物	△15,619			△15,619	
工作物	△11,734			△11,734	
計	△55,394			△55,394	

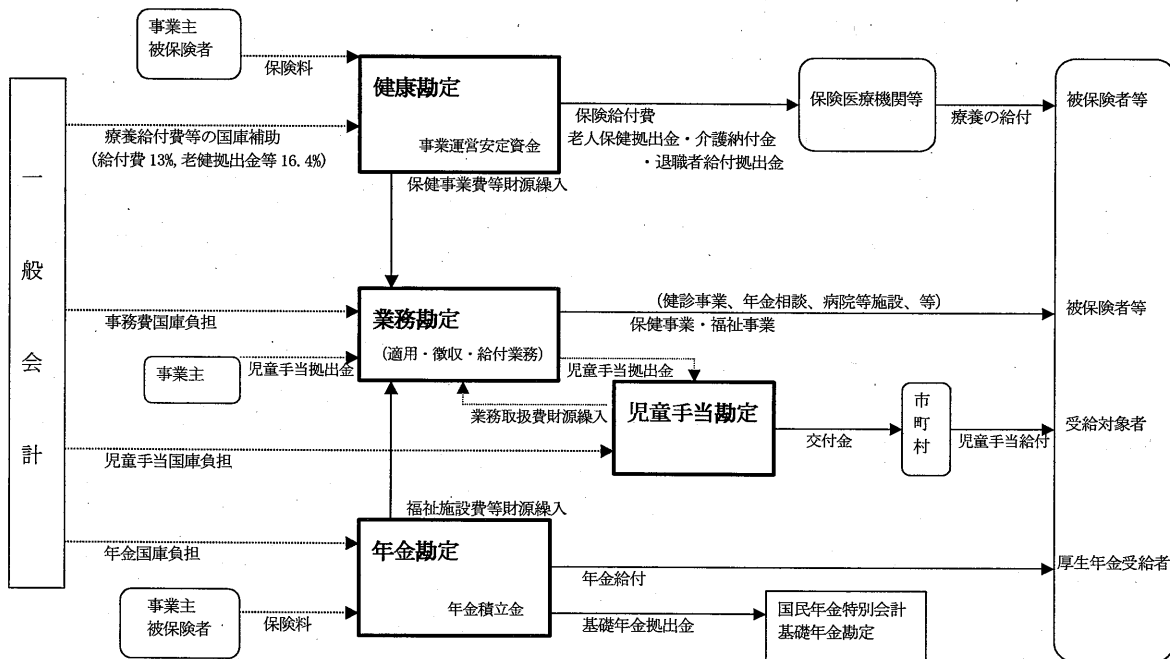
# 年 金 勘 定

## ◎ 年金勘定

この勘定は、厚生年金保険事業（厚生年金基金及び厚生年金基金連合会が行う事業を除く。）の保険収支（業務勘定に係るものを除く。）を経理するもので、事業主等から徴収する保険料、運用収入及び国庫負担金を主な財源として、保険給付等を行っている。

なお、年金勘定の積立金については、従来は全額を資金運用部に預託していたが、平成13年度より年金資金運用基金に寄託しての運用が開始された。

○厚生保険特別会計の仕組み



## 比較貸借対照表

## 厚生保険特別会計年金勘定

	平成11年度末	平成12年度末	(単位:百万円) 平成13年度末
資産の部			
現金・預金	134,792,783	136,876,651	122,269,547
運用寄託金	-	-	15,117,602
未収金	1,063,206	929,659	795,346
未収保険料	2,026,304	2,059,841	2,048,134
他会計繰入未収金	3,983,000	3,983,000	3,983,000
貸倒引当金	△ 273,608	△ 300,286	△ 314,305
有形固定資産			
土地	356,352	293,464	294,681
立木竹	2,095	1,994	1,989
建物	252,159	221,839	220,169
工作物	143,539	137,296	133,351
物品	0	0	0
建設仮勘定	1,556	4,019	11,281
出資金	1,009,716	1,017,529	963,352
資産合計	143,357,106	145,225,008	145,524,151
負債の部			
未払金	4,624,191	4,729,405	4,847,249
前受金	383,698	292,170	197,753
公的年金預り金	140,200,000	143,100,000	145,300,000
(負債計)	145,207,889	148,121,575	150,345,003
資産・負債差額の部			
基準時資産・負債差額	△ 132,402,929	△ 132,402,929	△ 132,402,929
積立金	134,798,755	136,880,413	137,393,381
業務費用・財源差額累計	△ 4,246,608	△ 7,282,681	△ 9,719,934
資産評価差額	-	△ 91,368	△ 91,368
(資産・負債差額計)	△ 1,850,783	△ 2,896,567	△ 4,820,851
負債及び資産・負債差額合計	143,357,106	145,225,008	145,524,151